

# もっと元気になってネ

## 老健たいよう 利用者と園児が交流

介護老人保健施設「老健たいよう」(春採7)は今年度、利用者にもっと元気になってもらおうと、湖畔幼稚園の協力を得ながら、

利用者との交流は、老健開設の時から続いているが、これまで園児が歌や遊戯を披露する一般的な形だった。園児の訪問は、今年度も5月から11月まで毎月1回予定しており、13日には年中組の29人が遊戯を披露した後、利用者とおもちゃで遊びながら交流。初め

はきこちなかった園児や利用者も、徐々に遊びの輪に加わっていた。

作業療法士の桂裕二さんは「本当の交流は、先生や職員がコントロールするものではなく、両者にきつ

けを提供し、波長が合った者同士がグループをつくっていくもの。今後も互いを知る、一緒に遊んでみる、などを通じて両者の距離を縮めていきたい」。

同幼稚園の済藤奈美教頭は「園児は高齢者やいろいろな人たちとの触れ合いを通して、思いやりやいたわりの気持ちや育まれていくと思つ」と話している。

(黒田文夫)

おもちゃで遊ぶ園児と利用者

